

家庭科1年生の学習について

1、家庭科のねらい

衣、食、住などに関する、実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の自立に向けて、生活を工夫し創する資質・能力を育成することを目指す。

2、学習内容

	学習内容		学習内容
2 学 期	家庭分野ガイダンス わたしたちと家族・家庭と地域 ①家庭のはたらき ②家庭の仕事を支える社会 ③わたしたちの家庭生活と地域 1健康と食生活 ①食事の役割について考える ②生活習慣と食事 ③中学生に必要な栄養 ④食品と栄養素 ⑤中学生に必要な栄養 ⑥食事の計画	3 学 期	食生活の課題と実践 2食品の選択と保存 ①食品が食卓にのぼるまで ②生鮮食品の選び方 ③いろいろな加工食品 ④食品の表示 ⑤食品の選択と購入と保存 ⑥食品の安全と情報 3調理をしよう ①調理の計画 ②調理の基本 ③肉の調理 ④魚の調理 ⑤野菜の調理

3、評価の方法

- ①関心・意欲・態度・・・授業態度（授業に必要なものを持参し、落ち着いた態度で実習等に取り組み、意欲的に発表する。）
ノート、ワークシート（確実に取り組む。）
提出物（期限までに提出する。）
- ②工夫・創造・・・・・・定期テスト（実習を生かして、生活を工夫していこうとする。）
レポート（工夫したレポートにする。）
- ③基礎的な技能・・・・・・実習（課題を確実に達成できたか。）
- ④知識・理解・・・・・・定期テスト（基礎的な知識を身につける。）

4、授業の約束

- ・出席は大事です。休まないようにしてください。（週1回の授業です。）
- ・特別教室で行う場合、時間にまにあうように移動し、着席しててください。
- ・話を聞くととき、実習するときのけじめをつけてください。（安全に、うまく実習を進めるためです。）
- ・ルールを守ってください。（調理室には刃物があり、ガスも使いますので、安全に気を付けながら作業をします。）

